

## ミジンコを使った試験方法

今日は、〇×事業所からの排水を調べて欲しい、  
とお願いがありました。

この排水だよ



WETシステムで  
評価するの??

## ミジンコを使った試験方法



排水のほかに、希釈水とミジンコを用意します。

この2つ...っ



### 希釈水

水道水を活性炭ろ過したものや、  
一昼夜置いた井戸水など。  
排水を希釈し、複数の比率で試験用水を作ります。

どうして  
わたし? ♡



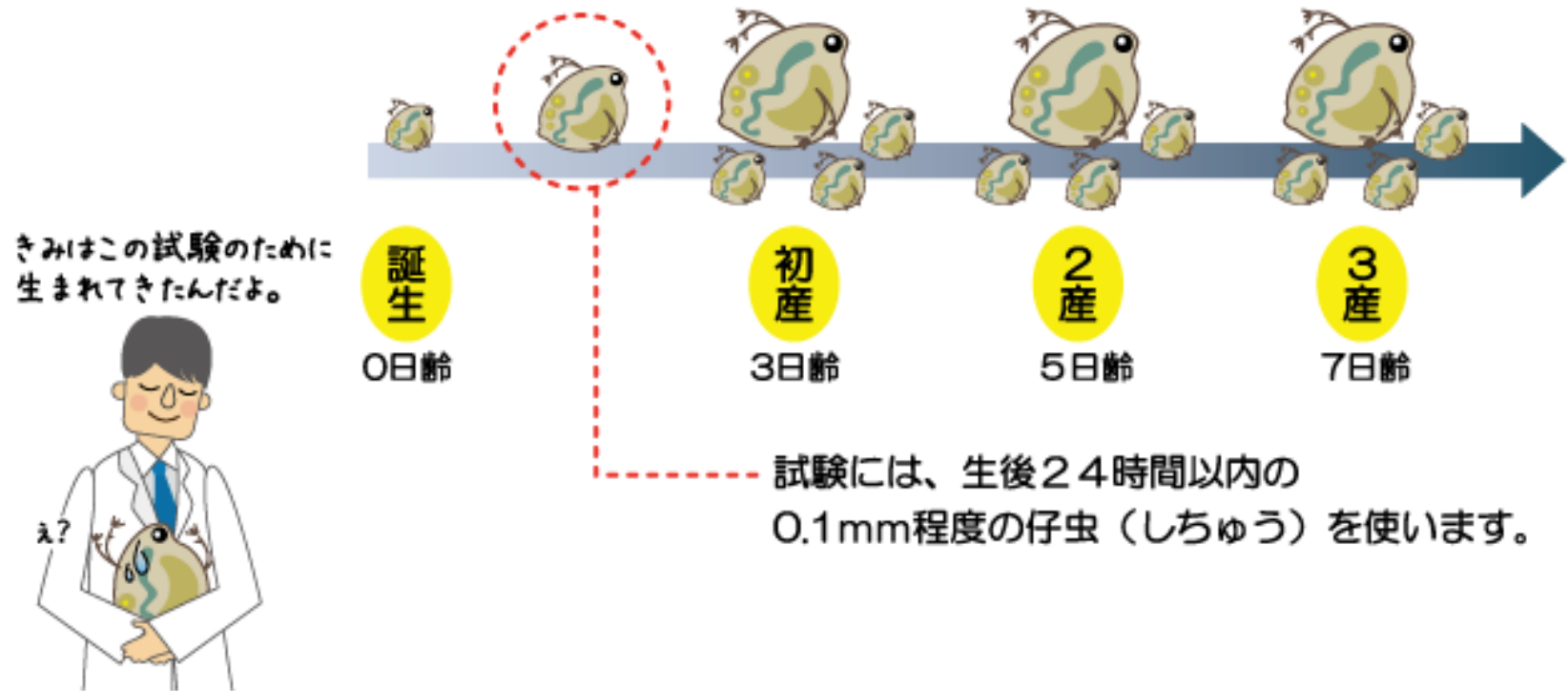
### ミジンコ

ニセネコゼミジンコが最適。  
ミジンコは化学物質に対して感受性が高く、  
多くの試験で重宝されています。

次は”ミジンコの特徴”

## ミジンコの特徴

ニセネコゼミジンコは、普段はメスだけで次世代を残す単為生殖<sup>※</sup>です。  
生後2日後には初産を迎え、その後2日に一度産仔（さんし）します。

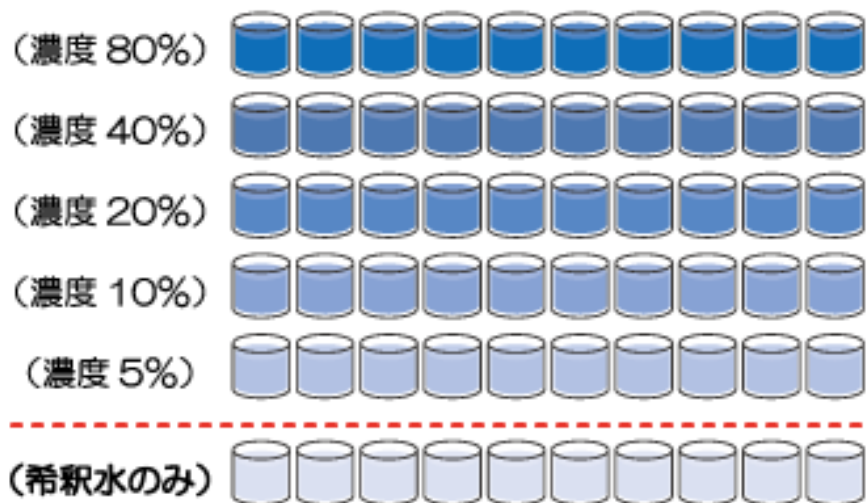


次は“サンプルの準備”

## サンプルを準備します

### 各濃度の試験用水

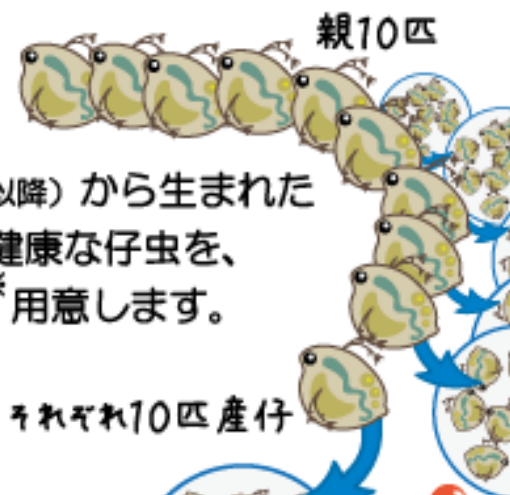
排水を希釈して、  
濃度が5%・10%・20%・40%・80%、  
のサンプルを10連用意します。



排水濃度がゼロの希釈水でも  
試験を行います。

### 供試個体の準備

10匹の親（生後7日以降）から生まれた  
生後24時間以内で健康な仔虫を、  
それぞれ10匹ずつ<sup>\*</sup>用意します。



ひとつのサンプルに  
同じ親から生まれた  
10匹の仔虫を  
投入します

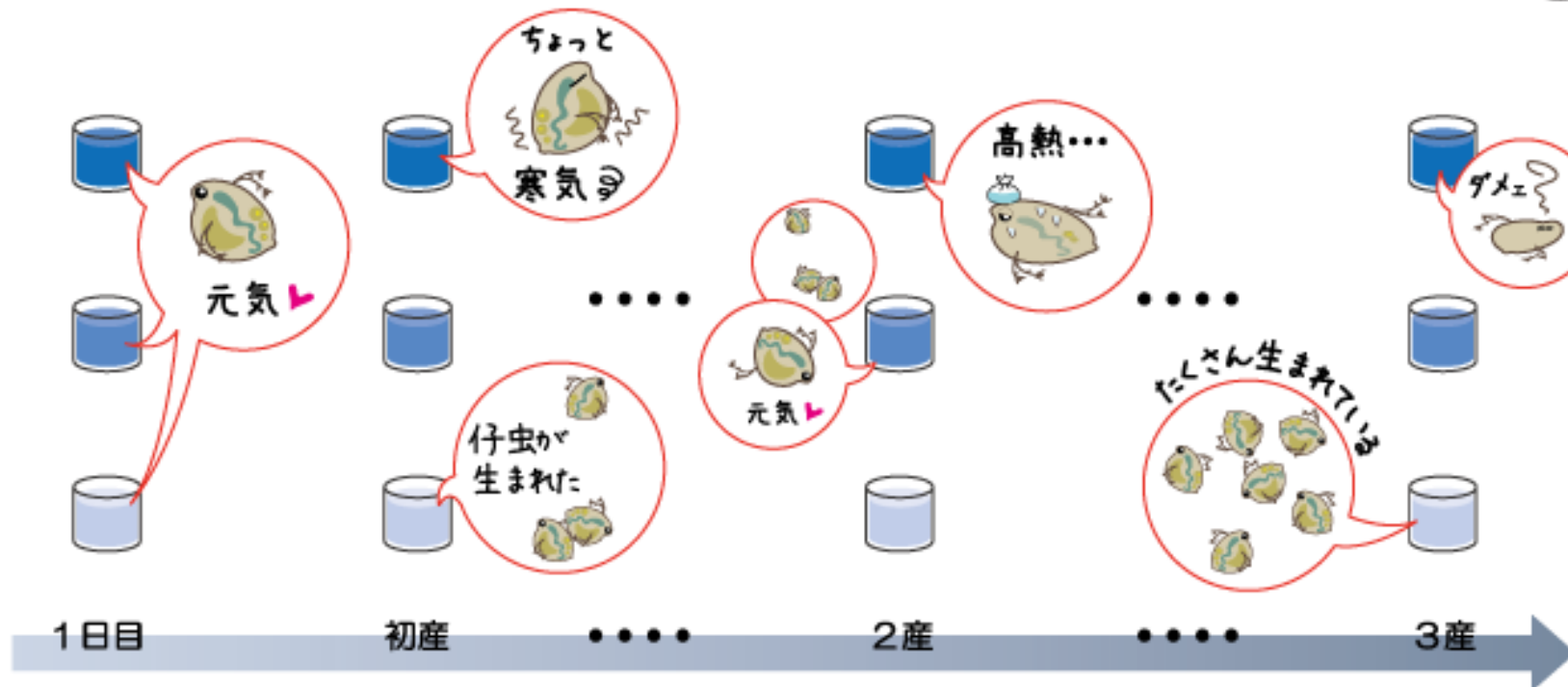


さあ“試験開始”です!

# ミジンコを使った試験方法

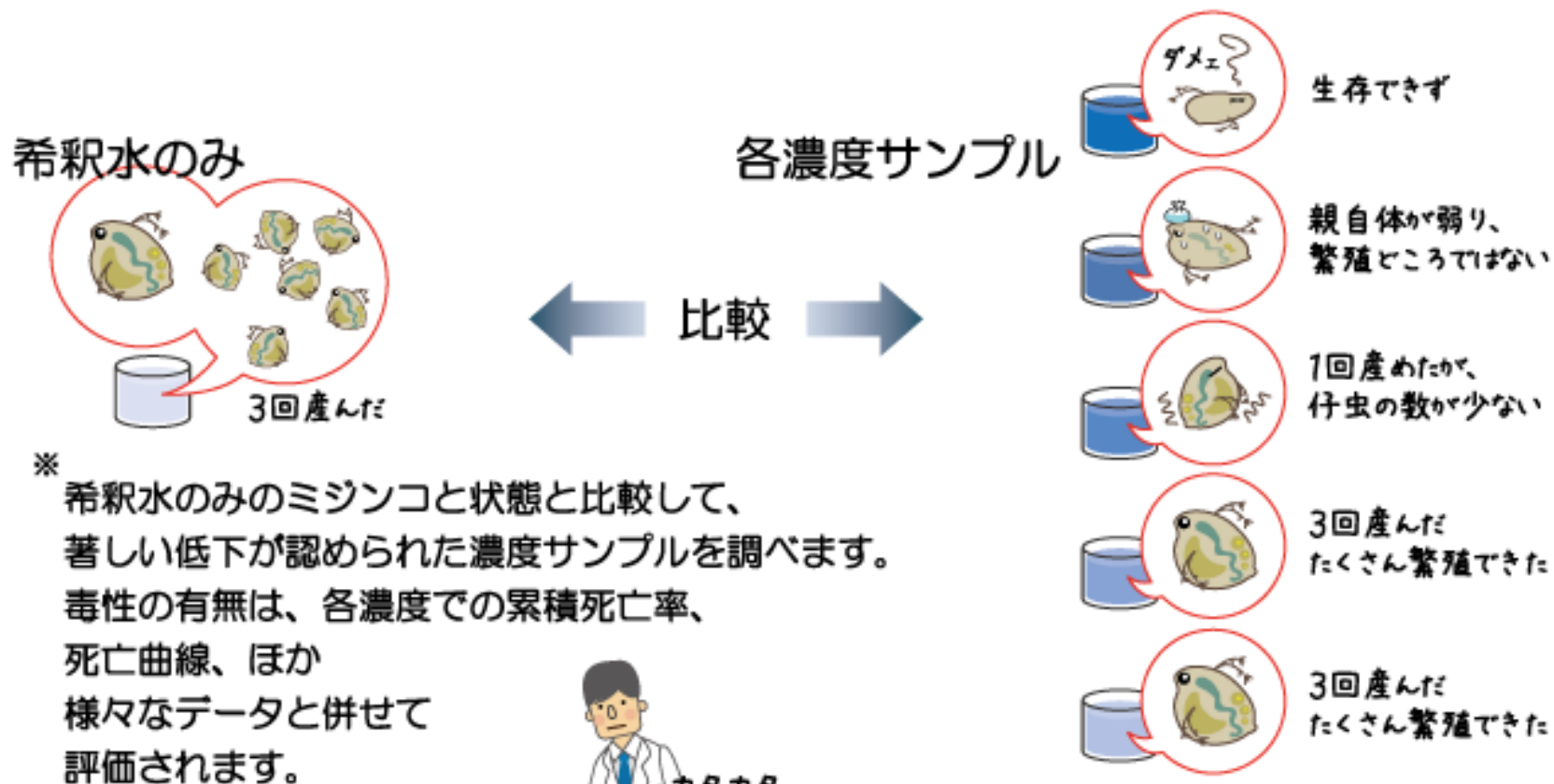
各試験用水にミジンコを入れて、試験開始です

試験期間は、希釈水で6割のミジンコが3産するまで。\*  
毎日、ミジンコの生死状態と生まれた仔虫数を調べて、記録します。



試験が終了後、“評価”へ

希釈水のみと各濃度を比較して、評価します



“毒性ありと評価されたら”